

令和6年度合唱祭

愛

～絆で届ける僕らの歌～



令和6年10月26日(土)体育館

～校長先生の言葉～

校長 鈴木 純

中間テストが終わり、いよいよ合唱祭強化練習期間となりました。先日、音楽室のそばを通りがかったとき、いつになく力のこもった歌声が響いていました。放課後になると、校舎のここかしこに美しい歌声が響き渡り、実行委員、指揮者・伴奏者・パートリーダーがそれぞれの役割を十分に発揮して、よりまとまりのある歌声になるよう、毎回課題を見つけ、さらによくするようパートの仲間とともに作り上げている様子が見られました。みなさんの音楽に向かう姿勢や感性はとてもすばらしいです。

さて、各クラスとも賞を目指して、一生懸命に頑張ってきたと思いますが、本番のステージに立つまでの過程はどうでしたか。作詞者の意図を理解するために、歌詞を何度も読み、歌詞に込められたメッセージをどのように発音しフレーズとしてまとめるのか。クラス全員が、自分のできるだけの声（大きな声ではなく楽曲にふさわしい声）を出し、互いに音色をそろえ、他のパートとの心地よいハーモニーを自分の耳で覚え、楽譜にとらめっこしながら作曲者はどういう意図で旋律や記号を付けているのか考え、それを声に表す作業は並大抵なことではありません。突き詰めればキリのない作業です。「たぶん、どのクラスも前述のようなことを意識して、練習してきたのだろうな」と楽しみにしながら、本番のみなさんの歌声を聴きたいと思います。



～実行委員長の言葉～

秋のすずしい風が感じられる季節となり、いよいよ合唱祭当日となりました。本日は私たちの合唱を観に来てくださりありがとうございます。

今年の合唱祭のスローガンは、「愛 ～絆で届ける僕らの歌～」です。1学年の「あさがお」は、まっすぐに空に伸びていく花のように、がんばっている自分にエールを送る歌です。また、2学年の「愛をあげよう」は、今までで出会ってきた人やものに愛をこめて接し、またくじけても立ち直ろうとしている自分に愛をあげようと伝えてくれています。そして、3学年の「リフレイン」は、繰り返しやってくる今日という日、明日という日はたった一度きりであり、この瞬間を、この今を大切に生きていこうという曲です。

わたしたちは、これらの合唱曲と出会い、日ごろから支えてくださっている方々からの愛に改めて気づくことができました。それは、家族であり、先生方であり、地域の方々であり、そして、今、まさに一緒に音楽を奏でている仲間であるでしょう。これからは、わたしたちも誰かにもっと愛を与えていけるような存在になっていきたい、そんな思いを歌にのせて、仲間とともに心をこめて歌います。そして、聴いてくださるすべての人に、感謝の気持ちが届きますように……。どうぞお楽しみください。

♪開会式

開会の言葉

校長先生のお話

実行委員長あいさつ

諸注意・外部審査員の紹介



「 明日の空へ 」

山崎 朋子 作詞・作曲

全
体
合
唱

この曲は山崎朋子さんが子どもたちに夢を持って生きていくことを伝えるために書いた曲です。「さみしいときでもいつもあなたがいる。ひとりぼっちじゃない。」とあるように落ち込んでしまったときは自分はひとりではないということを思い、この川通中みんなで心を合わせて歌います。どうぞお楽しみください。



「 あさがお 」

山崎 朋子 作詞・作曲

1
年

この曲は自分の人生をあさがおの成長で表現した曲です。明るくきれいに咲き誇るあさがおのような学年を目指したいです。中学校初めての合唱祭に向けて、みんなで気持ちを一つにしてたくさん練習してきました。学年目標でもある“心”を込めて歌うのでぜひ聞いてください。

「 大切なもの 」

山崎 朋子 作詞・作曲

1
年
2
組

この曲には山崎朋子さんの「人生においてたいせつなもの」を、この曲を通して考えてほしいという思いがこめられています。そんな山崎さんの思いにこたえられるように、私たちは日々クラス全員で練習を頑張ってきました。みなさんもこの歌を聞いて、大切なものを見つけてもらえると嬉しいです。

「 変わらないもの 」

山崎 朋子 作詞・作曲

1
年
1
組

この曲は、今まで出会ってきた人への感謝の言葉が詰め込まれた曲です。「いつか景色が変わっても変わらないものがある 心の中に・・・」というフレーズがあります。私たちが今まで出会ってきた大切な人たちへの変わらない思いをこめて歌います。どうぞお楽しみください。



「 愛をあげよう 」

おかべてつろう 作詞 三宅 悠太 作曲

2
年

この曲ができた当時、戦争などの暗いニュースで溢れていました。おかべてつろうさんは、自然や嬉しい出来事、自分以外の世界や愛と接することで「生きよう」と思って欲しいという願いで詞を書きました。この曲を、緑学年全員で、いつもお世話になっている方々へ、愛をこめて最後まで歌います。どうぞお楽しみください。

「 輝くために 」

若松 歓 作詞・作曲

2
年
1
組

この曲は、中学生、高校生へ、反抗期で喧嘩や仲違いが起きても、輝くためにお互いの意見や存在を尊重してほしい、という若松歓さんの思いが込められているそうです。私たち2年1組は、よりよい合唱にするためにみんなで意見を出し合いながら毎日練習してきました。サビの鮮やかなハーモニーに注目してお聞きください。

「 今を生きる 」

神 詩音 作詞 八木澤 教司 作曲

2
年
2
組

人は何かに向かって一生懸命になっているとき、その瞳は輝く。人には輝くチャンスがある。その時を逃さず今を生きてほしいという願いがこの曲には込められています。歌詞の意味を考えながら自分たちに重ねて心を込めて歌います。息のあった歌声をどうぞお楽しみください。



「リフレイン」

覚 和歌子 作詞 信長 貴富 作曲

3年

この曲は繰り返される日々が新しい1日であり一分一秒を悔いなく過ごすことが大切だという意味がこめられています。赤学年全員で歌う最後の合唱祭、心を一つにこの時を大切に、歌います。テノールとバスの力強い歌声と、ソプラノアルトの美しい歌声が重なり合うところに注目してみてください。赤学年全員で作り上げるこの美しいハーモニーをどうぞお楽しみください。

「Replay」

北村 匠海 作詞 西尾 芳彦&DISH// 作曲 田中 達也 編曲

3年2組

この曲は2022年にNHK合唱コンクールの課題曲となりました。歌詞の中でも学生時代を連想させるような複雑な心情や時の流れが表現されています。この曲を聞くと、毎日はとても大切で一瞬一瞬は巻き戻すことのできない儚いものだと私たちに気付かせてくれます。この曲を完成させるため、クラス全員で試行錯誤を繰り返して一生懸命練習してきました。明るく個性豊かな3年2組が気持ちを込めて全力で歌います。どうぞお楽しみください。

「青い鳥 -Movie Edit Version-」

安岡 優 作詞 北山 陽一 作曲 横山 潤子 編曲

3年1組

青い鳥とは「幸福の象徴」であり、この曲にはみんなが共に夢を叶えようという意味が込められています。また、ソプラノ、アルト、テノール、バスの4つのパートで構成されるととても美しい曲であるとともに難易度もとても高い曲です。しかし、僕たちはクラス練習の中でみんな意見を出し合い、改善点を見つけることで、曲の完成度を高め、最高の一曲を作りました。それではどうぞお楽しみください。

～ 休憩 ～



♪閉会式

講評

校長先生のお話・審査結果発表・表彰

最優秀クラス代表の言葉

全体合唱 「校歌」

閉会の言葉

